

片山いく子の風のたより



春日部市議会報告

2013年2月1日発行
春日部市大場663-5 〒344-0021
Tel: 731-7507 Fax: 738-8455

No.65

<http://ikuko-k.seesaa.net/>

2013年、春日部市の課題

東中学校の新校舎が完成しました

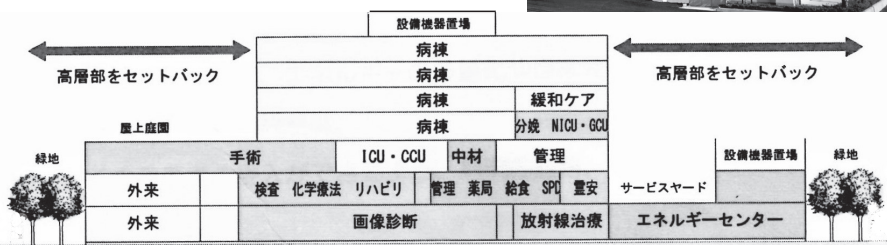
1月7日、春日部市立東中学校の新校舎落成式がありました。東中学校の旧校舎は、昭和37年から38年にかけて建設されたことから、築50年近く、市内で最も古い校舎でした。すでに10年ほど前から改築の必要があるとされてきたのですが、春日部市の財政状況が厳しいことから、建て替えが実現するまでに、時間がかかってしまいました。総事業費は約33億円です。

病院、市役所庁舎 大規模な工事が予定されています

現在、春日部市立病院の再整備計画が進められています。この春には基本設計がまとめられ、平成26年から建設工事がはじまる予定になっています。この事業には、病院の建物と医療機器だけでも100億円以上の費用がかかる見込みとなっています。また、市役所の庁舎も今年度中には建て替えが必要かどうかの結論が出ることとなります。



上は、集会もできる中庭や充実した特別教室などが整備され、太陽光発電や地中熱も利用した、環境にも優しい東中学校の新校舎。
下は建て替え後の市立病院のイメージ図ですが、まだ構想の段階です。



仮りに補修で安全性に問題がないことになって、かなり大掛かりな工事となるため、60億円以上の事業費が必要になりそうです。
春日部市の公共施設の多くが、昭和40年代から50年代に整備され、建築後40年を経過した施設が全体の四分の一を占めています。さらに、建物ばかりではありません。市道も全体的にかなり

老朽化が進んでいます。危険箇所は随時行われていますが、最近では道路の不備による事故の件数も目立つようになってきました。

「造るから直す」時代に

このような状況では、市庁舎や病院のような大規模な工事を行うから、お金がない、という理由で、他の施設の補修や再整備を先延ばしにするわけにはいきません。

春日部市のすべての公共施設の現状を検討しながら、再整備計画をまとめていかなければならない時期になっています。
これは、春日部市だけの問題ではありません。全国の自治体の多くで、同様の課題を抱えています。

国でも、中央自動車道のトンネル事故後、老朽化してきたインフラの補修の必要性が指摘されており、「造るから直す」時代、とも言われています。他の自治体の公共施設全体の再整備計画の進め方を参考にしながら、きちんと議論していきたいと思っています。